

令和2年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ～学ぶ喜びにあふれた学校をめざして～

令和2年11月27日
横浜市立高田小学校

12月号

あいさつのコツ

校長 赤坂 桂

校庭の木々からたくさんの落ち葉が舞い散り、冬の訪れを感じる季節となりました。

10・11月は様々な学校行事が行われました。体育参観や土曜参観は初めて分散型で行いましたが、皆様のご理解とご協力により無事、ある程度の密状態を避けて開催することができました。ありがとうございます。

また、6年生の箱根修学旅行、4年生の高尾体験学習、5年生の三浦体験学習も日帰りではありましたが、それぞれに自然の美しさを味わい、友達と校外で活動する楽しさを体験することができました。

実施方法や人数制限など課題は残りますが、今後も安全で安心できる行事の在り方を検討してまいります。ご協力をお願いいたします。

さて、月に一度、朝会の中で私から全校児童に働きかけていることがあります。それは「あいさつのコツ」です。

「目を見て」 「自分から」 「おじぎして」 「はっきりと」

の4つを合言葉としています。

コロナ禍では、全員がマスクを着けているため、表情がわかりにくく声も届きません。挨拶をしていないわけではないのですが、相手に伝わっていないことが多かったのです。

そこで、この「コツ」を放送朝会で話しました。すると翌日から明らかに挨拶をする子が増えました。小さな声でもぴよこんとおじぎする子や、わざわざ立ち止まって挨拶してくれる子もいます。わずかな目線や仕草でもつながろうとする気持ちを感じるとうれしくなります。

挨拶で大切なのは、相手と合わせようとする心です。大声を出さなくても会釈一つで気持ちは伝わるはずです。高田小に素敵な挨拶ができる子がますます増えていくことを願って、これからも語りかけていこうと思います。